

新 高層ビル



旧 芝大神宮



芝大神宮は、近年では金運アップや良縁成就のご利益があると言われています。

芝大神宮は1005年に創建されました。伊勢神宮の御祭神を主祭神としてお祀りした由緒ある社です。浜松町エリアでは1970年以降**高層ビル**が立ち並ぶようになりましたが、現在も芝大神宮は都心に残る神社として親しまれています。この**芝大神宮**と**高層ビル**が共存した風景が、日本の未来の風景の1つなのかもしれません。

新 & 旧 世界貿易センタービル

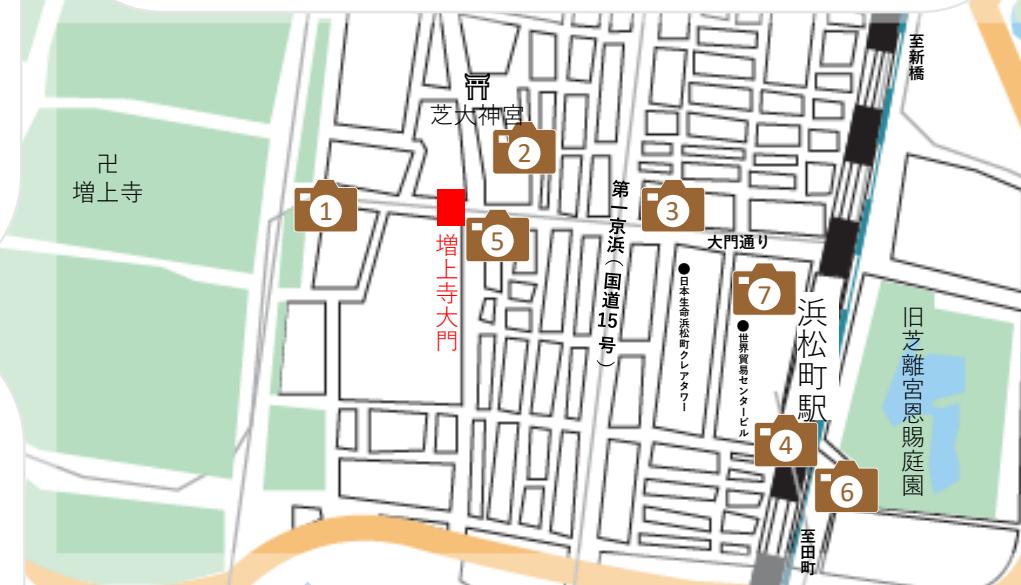


**日本生命
浜松町クレアタワー**



世界貿易センタービルは、1970年に竣工されました。それ以来、海外の国と日本を繋ぐ玄関口になっています。

世界貿易センタービルのある敷地は都市再生特別地区に指定され、新たに生まれ変わるビルにバトンを渡すことになります(浜松町駅西口地区再開発事業)。すでに、完成している**日本生命浜松町クレアタワー**と、**世界貿易センタービル**の2棟が並ぶ画は今しかみることができません。過去から未来へと繋がれるタスキを感じることができるのではないのでしょうか。



新 新幹線



旧 小便小僧



この**小便小僧**の衣装は毎月着せ替えられています。時代が進むにつれ、1964年開業の**東海道新幹線**などの**インフラ整備**が行われたり、周辺の開発によって景観が変化していく中、**小便小僧**が60年以上の間変わらず残り続けているのは地域の方々に愛されているからなのでしょう。季節や行事毎に変わる**小便小僧**の衣装にもぜひ注目してみてください。

※芝地区地域情報誌より引用
浜松町駅の三、四番線ホームには小便小僧の像が置かれています。これは一九五二年に鉄道開通八〇周年を記念して、当時国鉄の嘱託医だった小林光氏より寄贈されたものです。

新 東京タワー



旧 増上寺大門



増上寺は、一五九八年に現在地に移動され、ともに大門もこの地に建てられました。

大門がある通りはかつては人が行き交う参道でしたが、道路整備が進んだことで今は道路となり、信号機そして**東京タワー**と共存する景観になりました。この場所は、地域のパレードや歴史と発展を象徴する撮影地として有名です。これからも人々に親しまれつづけるでしょう。

旧 & 新 再開発



東京モノレール



1964年、都心と羽田空港までを結ぶ交通機関として東京モノレールが開通し、浜松町は東京の玄関口として発展していきました。

現在、浜松町駅周辺では大規模な複数の**再開発**が行われ、浜松町駅西口地区開発事業では、**東京モノレール**浜松町駅の建て替えやバスターミナルの**再整備**による交通結節機能の強化も計画されています。東京の玄関口としてさらなる発展を目指す浜松町が、今後どのような姿になっていくのか楽しみます。



**高層ビル
再開発**



旧 旧芝離宮
恩賜庭園



旧芝離宮恩賜庭園の目の前は昔は海でしたが、現在は埋め立てられ**高層ビル**が立ち並んでいます。**旧芝離宮恩賜庭園**の東西南北の四方で現在**再開発**が進んでいます。庭園の姿は江戸時代の面影を残していますが、周辺の**再開発**によって、景観は目まぐるしく変化しています。

浜松町に古くから存在している旧芝離宮恩賜庭園。一六〇〇年代に誕生したこのエリアは埋立により拡張され開発されてきました。